

ご 挨拶

九度山町では、平成 26 年 3 月に住民と行政が協働で、地域福祉と障がい者福祉を推進するための基本理念と施策を定め、第 1 期九度山町地域福祉計画・障がい者基本計画として策定し、取り組みを進めてまいりました。

その後、計画期間の 5 年目を迎え、地域のつながりが若い世代で希薄化してきている現状において、住民の助け合いや支え合いは、地域社会で安心して生活するために、より重要になっています。また、地域福祉計画・障がい者基本計画の新たな課題として、「市町村における包括的な支援体制の整備について」が盛り込まれるとともに、介護保険制度や障がい者福祉サービス等、社会保障制度の改革も進んでいます。

こうした状況・動向変化に的確に対応し、豊かで活力ある地域づくりと一層の地域福祉と障がい者福祉の向上を推進していく観点から、第 1 期の基本理念を継承し、改めて第 2 期九度山町地域福祉計画・障がい者基本計画として策定を行いました。

地域福祉・障がい者福祉を推進していくためには、町民一人ひとりが関心をもち、行政、社会福祉協議会、各関係機関が協働し、それぞれの立場において実践的な活動をしていくことが、自助・共助・公助の確立につながるものと期待しております。今後とも、町民が主人公のまちづくりを推進するため、町民の皆様方の積極的なご協力をお願い申し上げます。

最後に、計画の策定にあたり、多くの貴重なご意見をいただきました住民の皆様をはじめ、熱心にご議論いただきました九度山町地域福祉計画策定委員会の皆様にご心からお礼申し上げます。

平成 31 年 3 月



九度山町長 岡 本 章